段丘 dankyuu

新潟県立津南中等教育学校
後援会報 第5号
平成26年3月13日発行

事務局 新潟県立津南中等教育学校
住　所 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊298-1
電　話 025(765)2062
E-Maill school@tsunan-ss.nein.ed.jp

URL http://www.tsunan-ss.nein.ed.jp

後援会長　反り目 敏之

後援会員の皆様におかれましては、日頃から後援会活動に対するご理解とご協力を頂きまして本当に感謝申し上げます。

後援会は学校と連携を保ちながら、津南中等教育学校の教育の振興・充実及び、生徒活動の充実・奨励、並びに教育環境の整備・充実や生徒の健全育成を図ることを目的としています。

後援会の支援活動としては、生徒会活動支援と教育活動支援があり、その中でも進路指導支援と校外研修補助には一番力を入れているところです。

人を育てていくには地域全体で協力しながら育てていかなければなりません、いずれ日本の・新潟の・魚沼の大切な人材に育っていきます、その中で後援会が果たす役割はとても大切なものだと思っています。

今後とも津南中等教育学校の一層の教育環境整備のため、皆様方からのご支援とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

校　長　吉原　満

後援会員の皆様には、日頃から本校の教育活動に物心両面に渡ってご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

今年度は予算枠が広がり、非常に支援の自由度が増して長年の懸案を改善することができ、深く感謝しております。これまでは経済的な制約から我慢せざるを得なかったり、設備や備品が不足していたり、古くて機能の低いものでやりくりしていた教育環境が改善されてきました。生徒のさまざまな研修・合宿や進学指導など教育活動全般が豊かになり、学習環境も徐々に整ってきています。慢性的に予算不足だった部活動補助も、まだ不十分とはいえ、以前よりずっと手厚くなりました。

高い可能性を秘めた生徒にさらに磨きをかけ、夢に一歩近づけるような教育活動を進めて参りますので、今後も変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

平成25年度 主な事業

生徒活動支援	生徒会活動支援	いきいき大作戦、文化祭、体育祭、生徒会誌 等
	生徒研修支援	スピーチコンテスト、人権作文コンテストの参加補助 等
	部活動支援	楽器・用具購入補助、大会遠征費補助 等
	連盟分担金	高体連、高野連、高文連、中体連分担金 等
教育活動支援	環境整備支援	学習環境整備、コピー機レンタル 等
	校外研修補助	各学年の校外研修費の補助
	進路指導支援	進路講話、進路用学習図書の補助 等
	運営費	後援会報発行 等

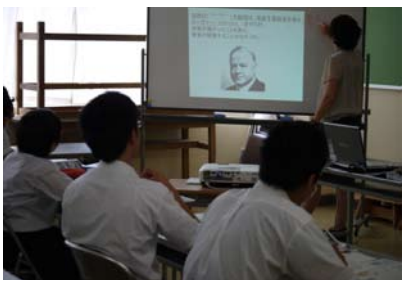
夢の実現へ向け、学習環境の充実・整備

教　頭　伊藤 大助

生徒たちは、入学と同時に夢の実現に向け、日々学習に励んでいます。そんな中、昼休みは、ほっと一息つける貴重な時間です。5月半ばを過ぎ雪がなくなり、暖かくなってくると、中庭で楽しそうにお弁当をひろげる様子が見られるようになりました。そんな生徒たちがリラックスしたひとときを過ごし、また勉強に集中できるよう後援会の支援を受けてベンチを設置しました。

また、授業等で利用する視聴覚機器としてプロジェクターを購入し、よりわかりやすい授業をすることが可能になりました。

その他、後援会から支援を受け、多くの点で学習環境の充実・整備を図ることができました。



夢の実現への一歩　教育活動の充実

各学年の校外研修、学習合宿等の本校の特色ある教育活動は、後援会の教育活動費の補助によって、より充実した豊かな内容となっています。

●１年生　妙高合宿

４月９日～１１日、まだ雪が残る国立妙高青少年自然の家で新入生オリエンテーション合宿を行いました。入学後、まだお互いの顔と名前も一致しない中、何もかもが初めての経験となる１年生にとって期待と不安でいっぱいの合宿でした。しかし、３日間の共同生活の中で「仲間作り」「学習習慣の基礎固め」を行うことができました。後援会からのご支援により、８期生は最高のスタートを切ることができました。ありがとうございました。

●２年生　リズムダンス

体育授業の単元にダンスがあります。内閣府・文科省後援「第１回全国中学校リズムダンスふれあいコンクール」の参加募集があり、２年生 80名で映像審査に臨みました。見事にアーティストの聖地・東京赤坂ＢＬＩＴＺで行われる全国大会の出場権を獲得しました。生徒は大舞台で臆することなく、堂々と津南中等らしいダンスを披露し、また１つ学校生活での思い出ができました。後援会からの多大なるご支援ありがとうございました。

●４年生　新大オープンキャンパス・海外研修

8月 9日の新潟大学オープンキャンパスでは、生徒はそれぞれ、自分の興味・関心にあわせて、自由にのびのびと学部・学科研究、学食体験、構内散策を楽しみました。11月の海外研修では、生徒たちは、ニュージーランドでの生活を満喫すると同時に、語学力や積極性、忍耐力など、未知の環境を生き抜くための様々な能力の必要性を感じることができました。これらの活動のために、後援会の皆様から多大なご支援をいただき、ありがとうございました。

●５年生　学習合宿・東京研修

４月のニュー・グリーンピア津南における学習合宿では、１日４時間の学習時間確保を目指し、お互いに励まし合いながらハードなスケジュールをがんばりぬきました。８月の東京研修では、Sony Science Program（非接触 IC カード技術 Felica）、東大生との座談会＆体験ゼミ、公開会場での模試受験、大学・企業訪問等、ふだんできない体験を通して進路意識を高めてきました。ご支援、ありがとうございました。

●３・６年生　学習合宿・センター試験

8月 5日～9日（3年生は7日まで）、志賀高原で 3･6学年学習合宿を行いました。6年生は受験の天王山をのりきること、3年生は後期 0年生としての準備をすることを課題として一日 10時間以上の学習をやり遂げました。

また、1月 18･19日には大学センター試験が長岡技術科学大学を会場に行われました。12月には国際情報高校で模試を受け、本番と同じような緊張感を経験しました。学年一丸となり準備を進め、6年間の学習の集大成を感じることができました。後援会の皆様方におかれましては諸経費の負担をいただき、また並々ならぬ声援を戴きまして誠にありがとうございました。

●スピーチコンテスト参加

今年度は、The 8th All NIIGATA High School English Speech Contest の上・中越地区予選に５年生２名が出場しました。ALTや校長先生の熱心な指導もあり、両名が１１月４日に新潟市で開催された本選に駒を進めました。本選では、各地区予選を勝ち抜いた生徒によるレベルの高いスピーチが繰り広げられました。その結果、阿部将太さんが４位、市村望さんが８位に入賞しました。英語学習に対するモチベーションをさらに高める経験ができました。後援会のご支援に感謝申し上げます。

夢の実現への道標　進路指導の充実

夢の実現に向けた進路講話・職業講話、進路学習室のよりよい環境づくりは、後援会の環境整備費・進路指導費の補助によって、支えられています。

イベントの充実

4月　「進路希望の実現に向けて（3・4年）」「第一志望合格に向けて（5・6年）」（河合塾）

近年の各大学の動向と特徴を捉え、進路実現に向けて学習意識を高めました。

5月　「現代文特別講義（5・6年）」（代々木ゼミナール）

大学受験の問題の解説を受けながら、現代文の学習方法と受験に向かう心構えについて学び、現代文の学習に向かう意識向上を目指しました。

6月　「職業講話（2・3・6年）」（北越急行株式会社）

2、3年生には「職場体験実習を受け入れて思われたこと」「働くことの意義」「企業はどのようなところか」などを話していただき、6年生には「働くことの意義ややりがい」「企業が求める人材」「学校生活を送る上での留意点」などを話していただきました。

8月　「卒業生による講話」

今回は10名もの2期生が集まってくれました。そこで2会場に分け、1・2年生には「学校生活の過ごし方」、3年生以上には「進路実現に向けての取り組み方」について、学年に応じた講話（体験談）を卒業生にお願いしました。集まってくれた卒業生には図書カードを渡しました。

9月　「夢講演」

演題「昆虫の羽ばたき飛行」
～ここに至るまでの経緯と研究について～
講 師　堀澤 早霧　様　（東海大学非常勤講師
カリフォルニア大学バークリー校研究員）

昆虫の羽ばたき飛行の研究を通して、夢中になれるものを発見し追究していくことの素晴らしさ、未だ解明されていない分野に飛び込み挑戦する姿勢、様々なアイデアで道を切り開いていく忍耐力を教えていただきました。

10月　「進路講話」

演題「山地のみらい、みんなのみらい」
講 師　栗原里奈様、坂下可奈子様、渡邊加奈子様
（にいがたイナカレッジ移住女子）

移住に至る経緯、生活や仕事に対する思いをお話しいただきました。出身も境遇も違う方々が、それぞれの情熱を持って「山地」に集い、キラキラと輝けることを見いだして活動されている様子に大きな勇気をいただきました。やりたいことにとことん取り組むために一歩踏み出すその行動力に対して生徒も深く感じるものがあったようです。

12月　「合同模擬試験」

借上バスを提供していただき、国際情報高校の生徒と合同でセンター試験プレテストを行いました。大学入試センター試験前に、よい刺激となりました

進路資料室の充実

進路資料室内には、購入した大学入試の過去問題や情報誌を閲覧できるようにしております。また、後援会費で購入したファイルにより、進路資料室前の大学別資料を見やすく整理できました。

もう一つの夢の実現　生徒会活動・部活動の充実

今年度は１年生以外にも新入部員を迎えて、活動の幅はいっそう広がりました。体育祭の入場門作成や文化祭での部誌販売、昨年度に引き続きとなる演劇発表と施設への作品提供に加え、後期生は高文連の文芸コンクールへの応募も果たしました。上級生が中心となって定期的に作品の講評会も行われています。様々な活動を通して芸術性と自主性を養えるよう、日々の活動を大切にしていきたいと思います。

（顧問　日下部　祥子）

バレーボール部は、「愛されるバレー部」をモットーに活動をしています。一生懸命ボールを追いかけ、感動や喜びを味わえるのも多くの人の支えがあってこそ。感謝の気持ちを忘れることなく、チャンスをしっかりと掴めるよう、心の強さや優しさなど、心・技・体それぞれの力を伸ばしていきたいと思います。今後も、応援よろしくお願いします。

（顧問　石坂　江里子）

今年度も後援会から補助をいただき、多くの大会に出場することができ、次のような結果を残すことができました。

新潟県総体 女子やり投 ７位 桑原 春奈

一年生大会 男子８００m ２位 桑原 陸

このように結果を残すことができたのも、後援会の皆様のおかげです。ありがとうございました。来年度も上位大会出場を目指し活動してまいりますので、応援よろしくお願いいたします。

（顧問　丸山　雄亮）

今年度、卓球部は総勢２３名で活動しています。今年度も様々な大会に参加をしましたが、殊に前期生において、カデット県大会の出場、秋の郡市新人大会では女子団体で優勝を収めるなど、非常に活躍が目立ちました。大会での入賞や技術向上だけではなく、一人ひとりが精神面でも成長していけるよう、部員一同精進していきたいと思います。

（顧問　笹川　孝志）

平成２４年度から新たに文化部として設立され、２年目の今年は、１年生３名、２年生６名、４年生２名、５年生２名の計１３名の部員で活動しています。普段は、基礎実験と課題研究を行い、夏から秋には野菜作りなどの植物栽培、苗場登山での星空観察などを毎年行っています。来年度はアマチュア無線局の開局をする予定です。

（顧問　村山　一之）

今年度から生徒会費の徴収に代えて、後援会より生徒会活動費を支出していただくことになりました。おかげさまで体育祭や文化祭などの生徒会行事、各専門委員会の活動など、今年度も滞りなく行うことができました。なお今年度から新たに会誌委員会が発足し、本校初となる生徒会誌を作成しました。来年度は、本校も開校９年目を迎えることになります。生徒会行事も草創期を過ぎ、さらなる進化・発展を遂げる時期に入っていくことと思われます。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

（生徒指導部　菅　卓）

今年度、後援会からトランペット・トロンボーン・アルトサックスを購入していただきました。夏の県大会では前期生・後期生全員で高等学校Ａの部に出場しました。また、学校行事、地域の吹奏楽フェスティバル、老人ホーム訪問演奏等、活発に活動しました。今後も学校や地域に貢献していきたいと思います。　（顧問　須田　拓朗）

野球部は「優れた選手である前にすばらしい中等生である」ことを心構えとし、日々の練習だけでなく、学校生活においても「学ぶ心」と「感謝の心」を大切にして取り組んでいます。前期生は中越大会出場まであと一歩まで迫り、後期生も夏の北信越大会で準優勝という成績を収めることができました。今後も部活動を通して目標の実現と共に、生徒一人ひとりが人間的な成長を遂げていけるよう、全員で努力を重ねていきたいと思います。　（顧問　阿部　茂雄）

サッカー部は３１名が所属しています。今年度、後期生は思うような結果を残すことができませんでしたが Ｎリーグ、地区大会において全力で試合にのぞむことができました。前期生は昨年に続いて春の地区大会で３位となりました。目標の２位には届きませんでしたが、他校との差も少しずつ縮まってきています。来年度は、上位大会に進出できるよう一人ひとりがサッカーの楽しさを感じながら、向上心をもって真摯に練習に取り組んでいきたいと思います。

（顧問　桾澤　寿史）